

まちづくり協議会の現状と市の考え方について

I. まちづくり協議会設立の経過と現状

まちづくり協議会については、設立に向けた取組を進める際に、市内26地区で説明会や検討会を開催するとともに、広報ふじの特集記事やまちづくり講演会、情報交換会等を通じて、その趣旨や目的の周知に努めてまいりました。しかしながら、まだまだ十分なご理解をいただけている状態になく、「既存の団体を統合する事が目的なのか?」、「どちらの団体が上位なのか?」などの疑問が今なお寄せられる現状にあります。

このような中で、前回検討会議においても、委員の皆様から「まちづくり協議会の皆さんに十分説明しているのか?」や、「まちづくり協議会の将来的な方向性をどう考えているのか?」といった、条例の根幹にも関わるような様々なご意見をいただいた所です。

II. 議会における市長答弁で示した市の考え方

こうした現状の中、先日行われた、平成27年9月定例会においては、議員から「**まちづくり協議会の目的再確認と今後の展開**」に関する一般質問が出されました。この質問に対して、市長からは、「**(まちづくり協議会)設立の趣旨は、既に活動されている様々な団体等の地区内連携を進め、地区の課題を地区自らが解決できる組織づくりを目指したものであります。また、部会制を導入していただいた理由は、活動の目的別に話し合いや協力が出来る体制を整えることで、地区団体間の連携が促進され、事業内容の重複が解消されることにより、効果的、効率的な地区まちづくり活動が行われることであります。議員ご指摘のとおり、まちづくり協議会は、地区団体を収斂(しゅうれん)することではなく、地区で活躍いただいている各団体の活動が、地区の課題解決に向けて、より連携・協力できるようにするものであり、既存の組織の統廃合を目指したものではありません。**」と、答弁をしており、今後もまちづくり協議会に参画する各団体の連携の下、地区の特色を活かした組織運営を進めていくこと、課題解決に向けた事業展開に取り組んでいただくことを期待する、市の考え方を示しております。

III. 今後の方向性についての考え方

まちづくり協議会に関する大きな方向性については、地域の力こぶ増進計画に示した、「持続可能な自主自立の地域コミュニティづくり」であることに変更はありません。これまでも、地区の皆様のご意見を伺いながら、計画に示した様々な取組の導入時期を調整し、まちづくり協議会の設立、まちづくり行動計画の策定と取り組んでいただけており、今回、これに合わせて条例の制定を目指して検討を進めているところです。

皆様ご承知のとおり、現計画は、来年度を以って計画期間の最終年となりますが、計画で示した大きな方向性を具現化していく為の、今後の具体的な取組とその進め方については、来年度以降、地区の皆様と意見交換をしながら、形作っていくものと考えております。

また、現計画に示した幾つかの取組は、未だに具体的に進められていない部分もありますので、来年度は、まちづくり協議会の皆様はもちろん、次代を担う若者世代も含めた形で、現計画の検証と今後の方向性について意見交換する場を設け、平成29年度にその道筋を示していく予定であります。

以上の様に、本市における今後のまちづくり活動を推進していく為には、多くの市民の皆様にも本条例の理念を共有していただくことが何より重要であります。今後、タウンミーティングなどを経て、様々なご意見を伺いながら、条例の制定に向けて進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き委員の皆様のご協力をお願いいたします。